一般財団法人 北海道国際交流センター

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 北海道IYEO 定例会 講話「ウガンダにおけるNGO活動」

企画実施概要: 内閣府国際交流事業に参加したOBたちでつくる青年国際交流機構(IYEO)の北海道

支部の定例会において下記の内容で講話する

①企画内容

・アフリカウガンダでの国際協力活動について

②ハイブリッドでの開催

2 出張者氏名 岡田朋子

3 依頼元/主催団体名 北海道IYEO

4 実施日時 2020年10月25日(日) 14:00~15:00

5 実施場所 札幌エルプラザ 札幌市民活動サポートセンター 会議室

6 実施報告 参加人数16名 (オンライン12名 対面4名)

参加者のほとんどが内閣府の青年交流事業の参加者で日頃から国際交流などに携わっている人も多く、皆興味深くきいてくれた。国際協力に関しては、知見が浅いが、今後団体としても取り組んでいきたい事業とのことで、今後もNGOと連携を組ん

で国内外での国際交流・協力を広めていくことを期待している。

## 7 写真

(写真1)



講義の様子オンライン参加者の様子

\_\_\_\_\_\_\_(写真2)

認定NPO法人IVY

# NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

パーム油のはなし2 知る・考える・やってみる!熱帯林とわたしたち 企画名:

①実施内容 企画実施概要:

•IVYから、N連、JPF事業である海外支援の紹介、NGO相談員制度に

ついて説明

・開発教育ワークショップ「パーム油のはなし2 知る・考える・やって

みる!熱帯林とわたしたち」の実施。

SDGsに関する説明

②対象者および参加人数 高校3,4年次 23人

小笠原 直子 2 出張者氏名

3 依頼元/主催団体名山形県立霞城学園高等学校

4 実施予定日時 令和2年10月20日 (火) 13:05 ~ 15:05

山形県立霞城学園高等学校(住所:山形県山形市) 5 実施場所

・パームヤシのプランテーションが増えることで環境破壊につながって 6 実施報告 いること、オランウータンなど生き物たちの住処を奪っていることはな

んとかしたいと思うけど、今の暮らしを失うのは嫌だし、この問題をどう やって解決していけばよいのか、とても難しい問題だと思った。 ・ワークショップの中のロールプレイで、消費者側の声と企業側の声 があったが、どっちの立場も「企業がやってくれれば」「消費者が要望 すれば」で結局言い訳でしかないことに腹が立った。言い訳よりも自 分たちが何をすればよいか考える必要があるのではないかと感じた。 ・自分たちが食べているもの、肌につけているものにパーム油が使わ

れていることを初めて知ったし、パーム油ができるまでにたくさんの人が関わっていること、また問題を知ることができた。

### 7 写真



グループごとに写真から読み取れること、わから ないことなどを書き出した。



ワークショップ後、グループごとに感想を伝え合 う生徒たち。

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター

# NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

東京外国語大学 講義「国際ボランティア学入門」(ゲスト講師) 企画名:

①企画内容:東京外国語大学における、開発協力や日本の援助全般 企画実施概要:

について取り扱う授業「国際ボランティア学入門」に、当団体職員を講

師として派遣する。

②対象者および参加人数:該当講義履修生46名

並木 麻衣(広報/ファンドレイジンググループマネージャー) 2 出張者氏名

3 依頼元/主催団体名 東京外語大学 小島 祥美(担当教員)

4 実施予定日時 令和2年10月27日 (火) 14:20~15:50

オンライン 5 実施場所

該当企画において、開発協力の役割や現場の状況、個別のNGOの 6 実施報告

取り組みや、国際協力分野におけるキャリア形成について説明した。 講義後学生からは、「開発協力/ボランティア=助けるもの/与える もの、というイメージがあったが、『人としての尊厳の回復の手助けをす る』という姿勢が印象に残った」「『知ること』と『行動する』ことの間に 『感じること』が必要、という言葉に、メディア志望なので『感じてもらえ る』記事を書けるようになろうと思えた」「自分として普段からできる国

際協力の方法を考えようと思えた」といった感想をいただいた。

### 7 写真



講義の最初に当制度の紹介をした。(オンライン実】今回は学生が対象なので、現地職員の仕事内 容がイメージしやすいように工夫した。

情報交換・交渉・コミュニケーションの語学

・情勢や事業進捗を掴むための経験や想像力

お金の管理、記録、資金繰りの経理感覚

同僚がもっている知識とスキル(現地)

施、右上が講演者)

問題を把握・管理するための知識

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 アイキャン

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国士館大学政治行政学科の学生に対する講演

企画実施概要: ①企画内容

同学科の「国際機構論」の講義において「国際社会におけるNGOの役割」

というテーマで講演を行った。

②対象者および参加人数

大学3・4年生(1・2年生聴講生含む) 約120名

2 出張者氏名 池上 里実

3 依頼元/主催団体名国士館大学 政経学部 政治行政学科 上村信幸 教授

**4 実施予定日時** 令和2年10月9日 (金) 16時25分 ~ 17時55分

5 実施場所 国士館大学 (住所:東京都世田谷区):オンラインでの実施

6 実施報告 国際社会におけるNGOの役割について話すとともに、より具体的に理解し

ていただけるよう当団体の活動をいくつか事例として取り上げた。また、就職活動時期を迎える学生も多く参加されたため、国際NGOという職業への理解を促すような内容も盛り込んで講演を実施した。当該授業の受講生は社会課題の解決や、ボランティア活動に関心の高い学生が多く、質疑応答の時間では、各国のCOVID-19による影響と活動の変化について、深掘りして質問する場面もあった。また学生からは「日本にいながらでも、何か少しでも私にできることがあるなら、力になりたい」などの声を頂き、国際社会における貢献意識を啓発する事ができたとともに、キャリア形成にお

ける視野を広げる事ができた。

### 7 写真



海外渡航規制により、現地を知る機会は限定的であるため、資料には写真や現場の声を入れるなど、 具体的なイメージが持てるよう工夫をした。

で清聴ありがとうございました 質問がありましたらお願いいたします。

講演後の質疑応答では、活動に関する質問に加え、NGOへの就職相談についても、自身の体験を踏まえお答えした。

(写真1) (写真2)

# NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

**企画名**: 関西学院高等部での国際協力についての講演

企画実施概要: ①実施内容

文科省ワールドワイドラーニング(WWL)の認可を受ける高校にて、国際協力について講義を行う。具体的には、国際協力概論とアジアの地

域コミュニティについて説明を行う。

②対象者および参加人数

「ワールドワイドラーニング」履修生 16名、教師8名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元/主催団体名 関西学院高等部

5 実施場所関西学院高等部 西宮上ヶ原キャンパス<br/>(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

6 実施報告 関西学院高等部にてスーパーグローバルハイスクールの後継プログ

ラムであるワールドワイドラーニング(以下WWL)にてNGO相談員として講演した。WWLの目的は「イノベーティブなグローバル人材を育成す

るため」という目的に添って、国際協力概論を実施した。

授業の中身としては「グローバル人材」を念頭に置き、一方的な知識のインプットに留まらないようにグループワークを取り入れ、生徒の方が意発言できるようなプログラムであった。各グループで活発な意

見交換が展開されていた。

講演への先生方の関心も高く、校長先生をはじめ、8人もの先生がご参加くださった。先生方からは、「探求とSDGsを学び始めたタイミングで、現場ならではの非常に興味深い話を聞かせていただいた」との感

想があり、有意義な講義ができたと考える。

生徒の方たちは今後、最も関心をもったSDGsのテーマについて学びを深め、団体訪問等も行う予定だそうだ。グローバル人材としての成長を期待したい。

### 7 写真



NGO相談員制度及び外務省との連携について説明した



\_\_\_\_\_ SDGsの目標に対するNGOの取り組みについて お話した

(写真1) (写真2)

# NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

神港橘高等学校での国際協力についての講演 企画名:

①実施内容 企画実施概要:

神戸市で活躍する個人や団体、企業の活動内容を学ぶプログラム である「橘タウンミーティング」にて、国際協力NGOの活動について

お話しする。

②対象者および参加人数

全体会320名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元/主催団体名 神戸市立神港橘高等学校

令和2年10月26日 (月) 4 実施日時 14:20~15:30

神戸市立神港橘高等学校 5 実施場所 (神戸市兵庫区会下山町3-16-1)

同校の橘タウンミーティング全体会で外務省NGO相談員制度、国 6 実施報告

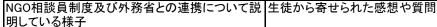
際協力の導入をした後にクラスで講義を実施した。

講義は国際協力概論としてSDGs3の健康をピックアップし、乳幼 児死亡率などのデータから国際協力を考える時間を持った。学生 は全体会で興味を持った学生が参加しており、積極的に参加してく れた。講義の後、感想と質問を書く時間があり、下記写真の通り多 くのコメントが寄せられた。意見は様々だが「国際協力について知る ことができてよかった」、「この講義で難民の意識が変わった」という 前向きなものも多かった。質問に関しては講義中に対応できなかっ

たので、後日メールで返信することとした。

## 7 写真







(写真1) (写真2)

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

**企画名**: 福知山淑徳高等学校での国際協力についての講演

企画実施概要: ①実施内容

インターアクトクラブの文化祭での活動における事前学 習、授業の一環として、国際協力についてお話しする。

②対象者および参加人数

インターアクトクラブ所属1~3年生 33名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元/主催団体名 福知山淑徳高等学校

**5 実施場所** 福知山淑徳高等学校

(京都府福知山市正明寺36-10)

6 実施報告 福知山淑徳高等学校・インターアクトクラブ所属の生徒

へ向けて、文化祭での活動における事前学習、授業の

一環として、NGO相談員として講演した。

初めに、外務省NGO相談員制度、国際協力概論、

SDGsについての説明を行った。 ネパールにおけるコロナ禍の現

ネパールにおけるコロナ禍の現状「ステイホームできない最貧困層」を中心にカースト制度や差別について講義した。また、ネパール現地の当会元研修生とオンラインで繋ぎ、対話・質問を受ける時間を持った。講義の後、ワークショップ形式でグループワークを持ち、生徒それぞれの意見や考えを出し合った。質問に関しては講義中に対応できなかったので、後日メールで返信することとした。

### 7 写真



NGO相談員制度及び外務省との連携について 説明している様子

オンラインにてネパールからの状況を 話している様子

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構

# NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので, 下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 岡山市立横井小学校での講演(総合学習)

企画実施概要:

①実施内容

SDGsや世界の抱える課題や現状の紹介を行った。

②対象者および参加人数 小学生6年生 160名

2 出張者氏名 山上正道

3 依頼元/主催団体名 岡山市立横井小学校

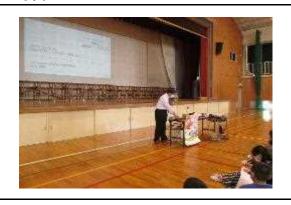
5 実施場所 岡山市立横井小学校 講堂

6 実施報告 途上国の子どもたちの現状や、NGOを含めた日本の国際貢献活動、

SDGsの目標達成への取り組みについて講演を行った。担当教諭からは、今後、子どもたちがSDGs17のゴールから各自がテーマを見つけ、学びを深めていく予定であり、そのための良い機会になったと、とのコメントをいただいた。子どもたちの視野が広がり、世界に目を向ける

きっかけとなり、今後につながることを期待したい。

### 7 写真



講演の様子



講演の様子

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構

# NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

**企画名**: 「わがまちのSDGs×ESD」での相談対応

企画実施概要: ①実施内容

10月18日に開催された国際理解・国際協力イベント「わがまちの SDGs×ESD」にて、相談コーナーを設け、来場者の個別相談に応じ、

国際協力に関する情報を提供する。

②対象者および参加人数

一般 40名

2 出張者氏名 白幡利雄(10:00~15:00)/山上正道(15:00~19:30)

3 依頼元/主催団体名 主催:ダフェプロジェクト

共催:岡山県JICAデスク、株式会社岡山コンベンションセンター

4 実施予定日時令和2年10月18日 (火)10:00 ~19:305 実施場所岡山コンベンションセンター2階「おかやまSDGsプラザ」

6 実施報告10月18日に開催された国際協力イベント「わがまちのSDGs×ESD」に

NGO相談員ブースを出展し、相談業務に当たった。

## 7 写真



相談対応(白幡)



相談対応(山上)

特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

#### 1 企画名および企画概要

小学生のためのオンラインボランティア体験講座「ゆうあいクエストV2020」 企画名:

### 企画実施概要:

①実施内容

a) 『地球村の子どもたち 途上国から見たSDGs(1) 格差』の一部を読み、途上 国で起きていることを知る。 b)途上国を支援する活動として、AMDA-MINDSの事例を紹介する。

c) 自分たちにできることを考える。中でも、「知ること」「集めて送ること」を紹介 する。

d) 質問回答

②対象者および参加人数

10人(小学生5人、中学生1人、保護者4人)

2 出張者氏名 林裕美

3 依頼元/主催団体名 岡山県ボランティア・NPO活動支援センター ゆうあいセンター

4 実施予定日時 令和2年10月31日 (土) 14:00 ~15:00

オンライン 5 実施場所

6 実施報告

- a) 写真を見せながら、主に書籍の前半部分を読む中で、開発途上国の様子 を想像してもらった。
- b) 途上国で起きている多くの問題に対し、その解決に向けてNGOがどのよう な活動に取り組んでいるかを紹介した。
- c) 自分たちにどのような支援ができるかを考える時間を取った後、

最初の一歩と考えられる「知る」こととして、ホンジュラスを取り上げ、国の様子を簡単に説明した。また、今後の「知る」を進めるために、NGO相談員制度を 紹介した。

もう1つできることとして、「集めて送ること」について実例を紹介した。

d) 小中学生からの質問に回答した。

### 7 写真



講演の様子

(写真1)

特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

国際交流市民ボランティア入門講座 企画名:

企画実施概要: ①企画内容

松山市が毎年開催している国際交流・ボランティア活動に関心のある人を対 象とした市民講座で、国際協力の必要性とSDGsの関連や、四国のNGO活 動の現状を広く紹介することで、国際交流・ボランティアの先につながる国際協力活動に興味・関心を持ってもらう機会とする。

2目的

国際協力活動やSDGsとのつながりに関する情報提供と相談対応の実施に より理解を深め、NGOでのボランティア活動やインターンにつなげることを目

的とする。

③対象者および参加予定人数

国際交流関係のボランティアに興味のある方で2回の講座に連続参加でき

る方40名

2 出張者氏名 竹内よし子

3 依頼元/主催団体名 まつやま国際交流センター

令和2年10月11日 14:00-16:00 4 実施予定日時 (日)

愛媛県松山市三番町6丁目4-20 5 実施場所

今回の出張サービスでは、一般市民向けに外務省NGO相談員制度を紹介 6 実施報告

し、活用方法を広報するとともに、四国内のNGOを紹介して国際協力活動へ の興味・関心を高め、ボランティア参加という行動につながるよう情報提供、

相談対応を行った。相談者からは以下の感想が寄せられた。

①北海道から引っ越してきたばかりでどのようなNGOがあるか全くわからな

かった。四国のNGOとODAの冊子を参考にしてボランティアしたい。

②SDGsについてすでにいろいろな取り組みがあることがわかった。自分も勉

強しなければと思った。資料を活用したい。

③コロナの影響でいろいろなイベントがなくなっているが、この企画でいろい ろなNGOでボランティアできることがわかって良かった。参加したい。

#### 7 写真



団体紹介・外務省NGO相談員制度について説明



相談ブースで対応している様子

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人えいめグローバルネットワーク

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

**企画名**: かがわ国際フェスタ2020

企画実施概要: ①実施内容

今年度は、新型コロナウィルスの感染状況を踏まえ、3密を避けるため、「かがわ国際フェスタ月間」として、展示とインターネットを活用した発信を中心とした。展示ブースを設け、国際協力、ESD、SDGsに関する資料や掲示物、NGO相談員のチラシ設置・ポスターの展示を行うことで市民への情報発信や普及啓発を行い、冊子「四国・国際協力団体とODA」を設置することで、四国の国際協力団体の活動についての広報も行った。同時に動画撮影を行い、You Tube により外務省NGO相談員についての紹介が配信された。

②対象者および参加人数

一般市民 約9,300人(来場者数:8,800人 動画配信アクセス数:500回)

2 出張者氏名 宇賀神幸恵

3 依頼元/主催団体名 かがわ国際フェスタ実行委員会(公益財団法人香川県国際交流協会内)

4 実施予定日時2020/10/16(金) ~2020/10/23(金)9:00 ~ 18:005 実施場所会場名:アイパル香川 (香川県高松市番町一丁目 11-63)

6 実施報告・展示会場で他のNGO団体との交流、情報交換ができた。

・展示資料を興味深く見る人、資料を読む人、持ち帰る人も多く、来場者に

国際協力やODAについて広く周知することができた。

・動画配信により、場所を問わず外務省NGO相談員について周知すること

ができた。

### 7 写真



展示の様子



来場者の様子

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

**企画名**: 三好市立三野中学校

企画実施概要: ①企画内容

三野中学校では、SDGs全般の学び、特に6番の水問題を中心にカリキュラムを作成・実施しており、ルワンダやエチオピアなどユニセフのHPを活用した学びを展開しているが、自分とのつながりを理解してもらうため、身近な実践者である四国のNGOの取り組みを紹介することで、世界と自分の関りを理解できるよう、また、中学生ができることについて考えられるよう講演を実施する。

②目的

中学生にSDGs・NGO・国際協力について興味・関心を引き出し、理解してもら

うこと、中学校生活で行動につないでいくことを目的とする。

③対象者および参加人数

中学2年生 42人

2 出張者氏名 竹内よし子

3 依頼元/主催団体名 三好市立三野中学校

4 実施予定日時 令和2年10月21日 (水) 13:30~15:20

5 実施場所 徳島県三好市三野町芝生1232番地

6 実施報告 今回の出張サービスでは、中学生が事前にさまざまな国際協力活動や水を

めぐる問題についてしっかり勉強していたこともあり、具体的な課題解決につなげていくためにどうしたら良いかを考えることができるよう、実践者である四国のNGOを紹介した。特にザンビアで水・農業・健康・教育分野で支援を行っているNGOと当団体のモザンビークにおける水・教育・雇用創出など具体的

に紹介した。生徒からは以下の感想が寄せられた。

①自分も将来アフリカに限らず世界の国々で困っている地域があれば助ける

ことができる存在になりたいと思った。

②同じ地球市民だから助け合いたい。力を合わせてすべての人が住みやすい地球にしたい。自分にできることを見つけることが新たな道につながる。 ③絶対に「違う国だから関係ない」と思わないで、今の自分にできることをしないといけない。家族・知人、近所の人たちとも考えて協力し行動したい。

### 7 写真



外務省NGO相談員制度について説明



水に関わる課題を抽出している様子

(写真1) (写真2)

特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

徳島県立池田高等学校辻校 企画名:

①企画内容 企画実施概要:

昨年度よりNGO相談員背戸の出張サービス企画を活用したかったという教 員と連携し、高校生がSDGsについて知り、自分ごととして世界の動きに関心 を持つことができるようSDGsの基本的な知識・経緯を紹介する。同時に、四 国で実践されているNGOの具体的な国際協力活動やESD/SDGsの取り組 みを紹介し、今、高校生ができることについて考えられるようオンライン講演 で伝える。

②目的

高校生にSDGs・NGO・国際協力について興味・関心を引き出し、理解しても

らうこと、高校生が行動につないでいくことを目的とする。

③対象者および参加人数

高校1年生 55人

2 出張者氏名 竹内よし子

3 依頼元/主催団体名 徳島県立池田高校辻校

令和2年10月14日 (水) 14:10~15:00 4 実施予定日時

徳島県三好市三野町芝生1232番地 5 実施場所

池田高校では、SDGsについて基本的な学びと国際協力活動のつながりを 6 実施報告

示し、

SDGs、国際協力活動に関する興味・関心を引き出すことができるよう説明し

四国にあるNGOを紹介したことで、SDGsに関わる実践者が身近な存在であ ることを伝え、

自分に何ができるかを考える機会とした。生徒からの感想は以下の通り。 ①自分の地元でもNGOの活動があることを知らなかったので、詳しい活動を

知れて良かった。

②SDGsについて、自分たちの普段の生活との関りがたくさんあることを学ぶ

ことができた。もっと調べていきたい。

③SDGsが今だけでなく、自分たちの未来を守るために、誰にとっても重要な

ことだと気づいた。

#### 7 写真



外務省NGO相談員制度について説明



四国のNGOを紹介

(写真1) (写真2)